

ぼうさい みくまじろ



No.9

H29. 12. 19 発行

みくまの支援学校
育友会 防災研修部

育友会の交流

たちはな支援学校の防災研修会に参加

12月5日(火)、県立たちはな支援学校にて、同校育友会主催の防災研修会が行われ、本校育友会役員3名が出席しました。同校は、世界的に有名な「稲むらの火」の逸話が生まれた有田郡広川町にあり、地震発生時の津波被害への危機管理意識の高い学校です。本校の取組を報告した後、質疑応答や意見交換が活発に行われました。両校に共通する課題だけでなく、それぞれに独自の課題もあることが分かりました。今回のように、支援学校の保護者同士が交流し合うことは珍しい取組だといえます。学校間の距離は遠いのですが、今後もおつきあいができればうれしいです。



たちはな支援学校での防災研修会での様子

和歌山県、新宮市、県東牟婁振興局と共に

福祉避難所開設図上訓練



本校は、平成26年度に新宮市と福祉避難所設置の協定を結びました。しかし、福祉避難所をどのように立ち上げ運営していくかなど、未知なことも多いと感じていました。今回、和歌山県障害福祉課からお声かけをいただき、12月6日(火)に「福祉避難所開設図上訓練」を行いました。橋本保健所の池田和功所長を講師としてお迎えし、要配慮者を受け入れるための準備として何が必要か、ワークを交えた研修に臨みました。(県)東牟婁振興局健康福祉部、新宮市健康長寿課の方々も来校され、本校防災プロジェクトのメンバーが共に学ぶ機会となり、各関係機関との連携の大切さや手順について理解を深めることができました。この研修をもとに、来年1月17日には、いよいよ実地訓練に取り組みます。

池田所長の講義より

- 1 避難所運営本部の立ち上げ
- 2 避難者の受け入れ準備
- 3 避難者の受け入れ
- 4 避難所で起こる課題



校内配置図を基に、避難所のレイアウトをグループで話し合いました